

【地元市、NPO 等関係者との協議・意見交換について】

<p>協議・意見交換の概要</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 40%;"> 地域住民（利用者）が計画づくりに参加できるワークショップ方式により検討 </div> <div style="font-size: 2em;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 40%;"> 港湾局では初めてとなる住民参加のモデルケース </div> </div> <p>意見具申を受けて、まず、地元市（泉大津・高石市）地元企業、野鳥の会と今後の進め方と計画内容について関係者会議を実施してきた。そこでの検討を受け、地域住民の意見を積極的に取り入れるため、本計画の見直しにあたっては地域住民が主体となり計画づくりに参加できるワークショップ形式で実施することとした。</p>																					
<p>ワークショップにおける計画のコンセプト</p>	<p>人と自然が共存し、野鳥など生物の観察の場となれる緑地をテーマに「野鳥も憩える公園」とする。</p>																					
<p>計画見直しの流れ</p>	<p style="text-align: center;">検討の流れ</p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">関係者会議の実施</div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">参加者募集</div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">ワークショップ立ち上げ</div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">現状把握</div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">構想検討</div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">計画案作成</div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">管理・運営検討</div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">最終計画案作成</div> </div>	<p style="text-align: center;">検討テーマ</p> <p>H13.10～H13.12 で全 3 回実施 要望項目の整理、見直しの進め方、利用促進・管理方法について協議</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 関係者会議のレベルアップ 港湾局では初めてとなる住民参加のモデルケース </div> <p>府ホームページ、市広報による募集、期間：H14.2.15～2.25、応募者 16 名</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">施設を見よう（現地見学） （14.3.15）</td> <td style="width: 50%;">関係者（府・市・NPO・企業）+ 応募者 = 総勢 22 名 参加者を抽選により 3 班とした</td> </tr> <tr> <td>緑地のイメージを考えよう （14.4.26）</td> <td>整えられた緑地ではなく、自然を体験できる場所にする 市街地にはない草地、湿地環境を創る</td> </tr> <tr> <td>ゾーンイメージを考えよう （14.5.25）</td> <td>利用と保全ゾーンはきっちり分ける 自然とふれあえる場所をつくる</td> </tr> <tr> <td>計画図を作成しよう（14.6.22） 市民プランを作成しよう （14.7.22）</td> <td>自然の姿を優先する 野鳥など生物が増えるよう干潟を広くする 海や夕日が見えるよう小山を造る</td> </tr> <tr> <td>管理・運営を考えよう （14.8.21）</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">整備</td> <td>記念植樹などイベント開催で市民参加を行う</td> </tr> <tr> <td>管理</td> <td>風力・太陽光を用いて維持管理費低減を図る 清掃などをボランティア・市民参加で行う</td> </tr> <tr> <td>運営</td> <td>野鳥など生物観察会を定期的実施する 環境学習の場としていく</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>現地で確認しよう（14.9.9）</td> <td>段階的な整備をし、自然の回帰を図る 実施時もワークショップにより観察通路など付加施設は 今後最善の方法を検討していく</td> </tr> </table>	施設を見よう（現地見学） （14.3.15）	関係者（府・市・NPO・企業）+ 応募者 = 総勢 22 名 参加者を抽選により 3 班とした	緑地のイメージを考えよう （14.4.26）	整えられた緑地ではなく、自然を体験できる場所にする 市街地にはない草地、湿地環境を創る	ゾーンイメージを考えよう （14.5.25）	利用と保全ゾーンはきっちり分ける 自然とふれあえる場所をつくる	計画図を作成しよう（14.6.22） 市民プランを作成しよう （14.7.22）	自然の姿を優先する 野鳥など生物が増えるよう干潟を広くする 海や夕日が見えるよう小山を造る	管理・運営を考えよう （14.8.21）	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">整備</td> <td>記念植樹などイベント開催で市民参加を行う</td> </tr> <tr> <td>管理</td> <td>風力・太陽光を用いて維持管理費低減を図る 清掃などをボランティア・市民参加で行う</td> </tr> <tr> <td>運営</td> <td>野鳥など生物観察会を定期的実施する 環境学習の場としていく</td> </tr> </table>	整備	記念植樹などイベント開催で市民参加を行う	管理	風力・太陽光を用いて維持管理費低減を図る 清掃などをボランティア・市民参加で行う	運営	野鳥など生物観察会を定期的実施する 環境学習の場としていく	現地で確認しよう（14.9.9）	段階的な整備をし、自然の回帰を図る 実施時もワークショップにより観察通路など付加施設は 今後最善の方法を検討していく	<p style="text-align: center;">検討の概要</p>	<p style="text-align: center;">ワークショップの状況</p> <p>（グループディスカッション）</p>  <p>（全体討論）</p>  <p>（現地で確認）</p> 
施設を見よう（現地見学） （14.3.15）	関係者（府・市・NPO・企業）+ 応募者 = 総勢 22 名 参加者を抽選により 3 班とした																					
緑地のイメージを考えよう （14.4.26）	整えられた緑地ではなく、自然を体験できる場所にする 市街地にはない草地、湿地環境を創る																					
ゾーンイメージを考えよう （14.5.25）	利用と保全ゾーンはきっちり分ける 自然とふれあえる場所をつくる																					
計画図を作成しよう（14.6.22） 市民プランを作成しよう （14.7.22）	自然の姿を優先する 野鳥など生物が増えるよう干潟を広くする 海や夕日が見えるよう小山を造る																					
管理・運営を考えよう （14.8.21）	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">整備</td> <td>記念植樹などイベント開催で市民参加を行う</td> </tr> <tr> <td>管理</td> <td>風力・太陽光を用いて維持管理費低減を図る 清掃などをボランティア・市民参加で行う</td> </tr> <tr> <td>運営</td> <td>野鳥など生物観察会を定期的実施する 環境学習の場としていく</td> </tr> </table>	整備	記念植樹などイベント開催で市民参加を行う	管理	風力・太陽光を用いて維持管理費低減を図る 清掃などをボランティア・市民参加で行う	運営	野鳥など生物観察会を定期的実施する 環境学習の場としていく															
整備	記念植樹などイベント開催で市民参加を行う																					
管理	風力・太陽光を用いて維持管理費低減を図る 清掃などをボランティア・市民参加で行う																					
運営	野鳥など生物観察会を定期的実施する 環境学習の場としていく																					
現地で確認しよう（14.9.9）	段階的な整備をし、自然の回帰を図る 実施時もワークショップにより観察通路など付加施設は 今後最善の方法を検討していく																					